

各 位

株式会社北洋銀行  
株式会社北海道二十一世紀総合研究所**「北洋農業応援ファンド」の出資先が決定しました****～ 『TAKIZAWA WINERY』 有限会社グリーンテーブル様に 7.2 百万円の出資が決定～**

株式会社北洋銀行、株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、株式会社日本政策金融公庫と共同で組成した「北洋農業応援ファンド（北洋農業応援ファンド投資事業有限責任組合）」を通じて、有限会社グリーンテーブル様（所在地：北海道三笠市）に 7.2 百万円の出資を行うことを決定しました。本件は「北洋農業応援ファンド」の第 3 号出資案件となります。

有限会社グリーンテーブル様は、ワイン用ブドウ収穫量日本一を誇る北海道の中でもワイナリー、ヴィンヤードが数多い空知エリアにおいて、農薬や化学肥料等を極力使用しない高品質なワイン用ブドウを栽培し、平成 25 年に完成した自社ワイナリーで、野生酵母による自然環境を生かしたワインを醸造しています。

本件は、自社農場のワイン用ブドウ収量増加に伴い、ワイナリーの醸造設備を充実させ、今後更なる良質なワイン醸造に寄与するものです。

また、当社では地元専門学校の実習生受け入れ、空知エリアの他ワイナリーと連携したワインツーリズム等、農業後継者の育成や地域活性化にも積極的に取り組んでいます。

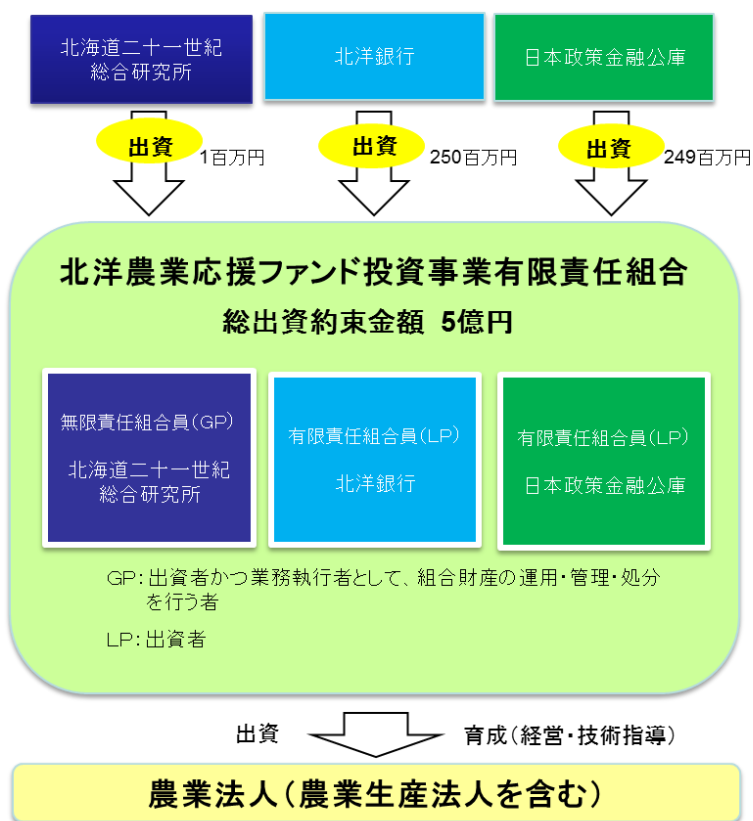
当行は、農業生産者様に対し、出資等による資金供与を含め、経営支援、ビジネスマッチング等のソリューション提供等の取り組みを進めております。今後も、農業生産者様への支援を更に進めるとともに、自治体等関係機関と連携し地方創生に取り組んで参ります。

**【出資案件概要】**

出 資 先 名	有限会社グリーンテーブル（代表取締役 瀧澤信夫）
所 在 地	北海道三笠市川内 841 番地 24
出 資 決 定 額	7,200,000 円
出 資 形 態	無議決権株式引受
資 金 使 途	ワイン醸造に係る設備資金及び運転資金
事 業 内 容	○ワイン用ブドウ栽培、ワイン醸造 ・農薬や化学肥料を極力使用しないワイン用ブドウ栽培 ・自然環境を生かした野生酵母によるワイン醸造 ○専門学校の実習生受け入れによる人材育成
出 資 理 由	・高品質なワイン用ブドウの栽培、特色のあるワインを醸造し、農業の高付加価値化を図っていること ・ワイン用ブドウの産地である空知エリアにおいて、ワインを通じた食と観光による地域活性化が見込めること

<ご参考>

■ 「北洋農業応援ファンド」事業スキーム図



■ 「北洋農業応援ファンド」概要

項目	内容
ファンド名称	北洋農業応援ファンド投資事業有限責任組合
ファンド設立	平成26年9月25日 (平成26年10月 株式会社日本政策金融公庫加入)
ファンド存続期限	平成40年12月31日
無限責任組合員	株式会社北海道二十一世紀総合研究所
有限責任組合員	株式会社北洋銀行、株式会社日本政策金融公庫
総出資約束金額	5億円 株式会社北海道二十一世紀総合研究所 100万円 株式会社北洋銀行 250百万円 株式会社日本政策金融公庫 249百万円
出資対象事業者	北海道内の農業法人 (農業生産法人を含む) 等

以上